



2016 年 新住協関西支部 第 2 回研修会

高断熱高気密住宅の基礎講座 2016

「違いが分かる高断熱住宅」①

今回は、新住協事務局理事 会沢さんをお迎えし、2 回シリーズで高断熱高気密住宅の基礎について「イロハのイ」から「Q1.0 住宅」まで、じっくりと教えていただきます。

毎年このような基礎研修をしっかりと行っていくことは、関西支部全体のレベルアップのために不可欠だと思っております。まずは土台となる知識と情報をしっかり身につけ、関西独自の高断熱住宅をつくっていきましょう。(研修内容の詳細は 2 ページ目を参照して下さい。)

● 「違いが分かる高断熱住宅」① …………… (社) 新住協事務局理事 会沢 健二 様

「これは 高断熱住宅です!」、「これが 高断熱住宅です!」

「これは」と「これが」 この違いはなんでしょう?

「これは」と
言ってませんか?



● 「会員による 高断熱住宅の施工事例発表」 …… (有) ダイシンビルド 清水 一人

「ダイシンビルド 高断熱住宅のあゆみ」

- 日 時 平成 28 年 4 月 7 日 (木) 13:30~17:00 (受付開始 : 13:00~)
- 場 所 TOTO 大阪ショールーム
- 住 所 大阪市北区角田町 8-1 梅田阪急ビルオフィスタワー 20 F [TEL] 06-6940-0010
- 会 費 研修会 **新住協会員の方…1,000 円** **会員以外の方…2,000 円**
懇親会 5,000 円 (前日・当日の懇親会キャンセルは会費をいただく場合があります。)
- 締切日 平成 28 年 3 月 31 日 (木) まで

お申込みは、「会社名・参加人数・参加者名・懇親会の参加不参加」をメールにてお知らせ下さい。

※ 初参加の方のうち、他支部会員の方は所属支部名を、会員以外の方はご紹介者名を明記して下さい。

申込み先 : 新住協関西支部事務局 建築工房 感 設計事務所 多田 寛史

[Mail] jimukyoku@shinjukyo-kansai.com

[TEL] 0797-22-7941 [FAX] 0797-22-7941

※ 当日のキャンセルについては、[携帯 TEL] 090-1155-7941 までご連絡下さい。

「違いが分かる高断熱住宅」①②

第1回 (2016年4月7日(木))

1. そもそも高断熱住宅

東北北海道ではなぜ高断熱住宅が普及したのか？ 省エネ基準や省エネ補助があって普及したのではありません。「そういう家にしたい」とユーザーが望んだからです。関西でも、望まれる家になることが肝心です。東北北海道でなぜ普及したのか、どのように普及してきたのか、それを知ることからスタートです。

2. 北海道の「手順」を学ぶ～取り組み方の基本

北海道に「BIS」という断熱住宅に関する資格制度があります。ここでは「熱計算」の目的を、

1. 建物の断熱性能を評価する
2. 年間熱消費量(暖房費)を予測する
3. 暖房機の大きさを決定する

としています。

関西は冷房など、事情が違います。しかし考え方や手順は同じと言えます。(右図参照)

BISの手順を勉強してみましょう。

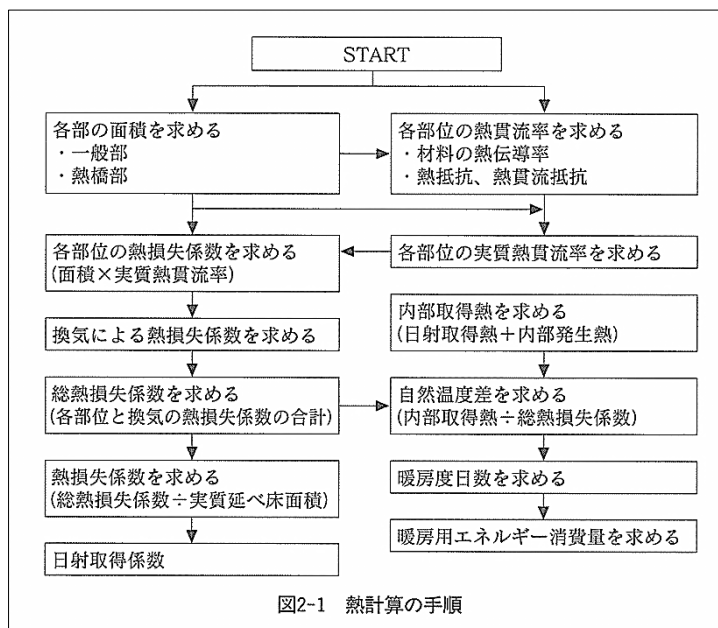


図2-1 熱計算の手順

3. 100 ㊦断熱の力

北海道の大半は壁 100 ㊦のグラスウール断熱です。帯広・旭川など極寒地でも 100 ㊦です。断熱材が、その性能を 100 ㊦発揮すれば 100 ㊦でも暖かく快適に暮らすことができます。いわんや関西においてをや、です。

どういう理屈なのか、そこが分かれば関西の高断熱住宅づくりに明確な指針が見えるでしょう。

第2回 (2016年6月2日(木))

4. 断熱気密の基本施工・冷暖房換気設備

充填断熱の研修会の多くは「あれをしてはダメ、こうしちゃいけない」という傾向がありました。逆に「こうすればいい、これだけすればいい」という見方をしたらどうなるか。そういう視点で断熱気密の施工を見ると、高断熱高気密の原理原則が理解しやすいでしょう。

5. Q1.0 住宅への発展

Q1.0 住宅とは、暖房エネルギーを省エネ基準住宅の 1/2 以下にする住宅です。「暖房エネルギー消費量はどうな計算で行われるのか」QPEX を使って理屈と方法を理解しましょう。

6. 断熱改修 <東北関東の断熱リフォーム事例>

東京で断熱改修をして実績を上げている会員がいます。工事金額は 200 万円前後です。それで結果が出ています。小規模な工事から大規模な改修まで、いくつかの事例をご紹介します。

これらは断熱気密の原理原則に則った施工をしています。ユーザーには大変好評です。